

みんなで支える豊かなくらし 地域と行政をつなぐ

広域だより

vol. 94

2024.07.01



消防署東分署、消防ポンプ自動車及び高規格救急自動車を更新しました！

消防署西分署を移転します

消防署西分署庁舎は、昭和48年に建設され、半世紀にわたり消防活動拠点としての役割を果たしてきましたが、老朽化や耐震性能の低下が顕著であることから、現庁舎から移転整備することとなり、現在地より約1km東の伊香保中学校南東の場所に令和6年中の供用開始を目指し建設を進めています。

工事期間中は、騒音や通行において、ご迷惑をお掛けしますが、皆さまのご理解とご協力をお願いします。



山の事故を防ぎましょう!

渋川広域圏内では、年間約5件の山岳遭難事故が発生しています。道に迷って自力で下山できなくなったり、急な病気や転倒による負傷などで動けなくなったなどが主な要因となっています。

●山の事故を防ぐために

①天候や気候、地形や登山道、危険箇所など事前の情報収集を万全に

・天気予報をよく確認し、地図や登山用アプリを使って情報を収集しましょう。

②服装、地図、通信手段などの万全な装備を

・気温や天候などに合わせて着脱できる服装、山の状況に合った登山靴を用意しましょう。
・地図とコンパスのほか、GPS機能付きスマートフォンで登山用アプリを活用しましょう。
・緊急時に連絡がとれるよう携帯電話などの通信手段を確保しましょう。

③体調や体力、登山の経験や技量に見合った無理のない登山計画を

・ゆとりをもった無理のないタイムスケジュールを計画しましょう。
・登山計画書を群馬県警察本部地域課又は渋川警察署に事前に提出しましょう。
・登山届の提出(群馬県警察本部HP): <https://www.police.pref.gunma.jp/28815.html>



●万一、遭難したときは

救助を必要とする場合には、119番通報を

渋川広域消防本部では、渋川広域圏内の主な登山道に通報ポイントを設置しています。遭難などの緊急時に119番通報する際には、付近の通報ポイントの番号を伝えることで通報者の位置がわかるようになっています。

【問い合わせ先】 渋川広域消防本部警防課 ☎0279-25-4192

群馬県警察本部▶



6号橋
3/7



野外での焼却はやめましょう!



●野外焼却に関する苦情が寄せられています

消防署には、「煙の発生により洗濯物を干すことができない」「煙のにおいが家の中まで入ってくる」「煙でのが痛い」などといった苦情が年間で約30件も寄せられています。

また、野外焼却後の不始末から付近の枯草などに燃え広がる火災が毎年多く発生しています。



●野外焼却は法律で禁止されています

野外での焼却行為は、近隣住民の迷惑となることから、一部の

例外を除き「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」で禁止されています。

●消防署への届出について

例外的な野外焼却を行う場合には、「火災とまぎらわしい煙又は火災を発するおそれのある行為」として、火災予防条例に基づき消防署への届出が必要です。

この届出は、誤報による消防機関の出動等を避けるためのものであり、燃焼行為を許可するものではありません。届出については、消防署へお問い合わせください。

【問い合わせ先】 渋川広域消防署 ☎0279-25-0119



渋川市長尾小学校
6年生(当時)の作品



渋川市立三原田小学校
2年生(当時)後藤諒太さんの作品

【最優秀賞】

組合では、ごみ減量化啓発事業の一環として渋川広域圏内の小学生を対象としたごみ減量化啓発ポスターコンクールを開催しました。
このコンクールは、渋川市・吉岡町・榛東村・組合と循環型社会の形成に関することなどについて包括連携協定を締結しているサントリーグループに協賛いただき開催しています。
令和5年度に応募いただいた作品の中から最優秀作品を選出しましたので掲載します。
令和6年度も開催しますので、多くの応募をお待ちしています。

ごみ減量化啓発
ポスターコンクールを
開催しました

プラスチックごみの分別収集が始まっています



資源物ストックヤードの様子

プラスチック素材の容器包装には
マークが表示されています。



プラスチック製容器包装ごみ(例)

令和6年4月から渋川市、吉岡町、榛東村ではプラスチックごみのリサイクルを推進するため分別収集を開始しました。
これに伴い清掃センターでは市町村から搬入されたプラスチックごみのリサイクル処理を開始しました。
これまでプラスチックごみは燃えるごみとして焼却処分をしてきましたが、資源物として収集し、ごみ減量化と再資源化を推進していきます。
「プラスチック製容器包装ごみ」と「100%プラスチック素材で製造されたプラスチック使用製品ごみ」を出すときは、プラスチック専用の指定袋に入れて出してください。

プラスチックの分別方法について、渋川市・吉岡町・榛東村ではホームページで紹介しています。
また、容器包装リサイクル協会では分別排出のポイントとリサイクルの流れとして動画紹介しています。

容器包装リサイクル協会
動画掲載ページはこちら
<https://www.jcpra.or.jp/recycle/tabid/933/index.php>



材料表示：PP・PE・PS・PVC等の記載が目安です。金属等が含まれるものは対象外です。



100%プラスチック使用製品ごみ(例)

プラスチックごみの分別収集に含めてはいけないもの

・汚れが付着しているもの

汚れが付着したプラスチックごみは資源化できません。また資源化可能なプラスチックごみを汚してしまいます。食べ残しや油分などが付着しているとリサイクルできません。食器洗いなどの残り水で軽くすすぐか、いらない紙などでふき、汚れが落ちたら水気を切って出してください。おかしの袋などは中身を空にしてから出してください。

・プラスチック使用製品であっても一辺の長さが50cm以上のもの、まな板、擬木などの厚みのあるもの(厚さ5mm程度以上が目安)

リサイクルの処理過程において機械が破損するおそれがあります。固いもの、厚みのあるものは出さないでください。長いものは50cm未満となるよう切ってから出してください。

・刃物等

リサイクルの処理過程で作業員が怪我をする危険性があるものは出さないでください。判断に迷ったときは、燃えるごみ・燃えないごみとして出してください。

・リチウムイオン電池を使用するもの

リサイクルの処理過程において火災を生じるおそれがあります。リチウムイオン電池が含まれるものは出さないでください。リチウムイオン電池はリサイクルが可能なものとして、各市町村やリサイクル協力店などで回収しています。

・点滴用器具、注射針、注射器などの医療用器具

感染するおそれのある病原体が含まれる、または付着しているものは出さないでください。医療機関や薬を処方する薬局にご確認ください。在宅医療廃棄物のうち、非鋭利なものでビニールバッグ類、チューブ等は燃えるごみとして出してください。

二重袋はやめてください

清掃センターに搬入されたプラスチックごみは、手選別し資源化しています。レジ袋などの小袋にまとめたものを指定袋に入れた状態で、二重袋になっていると内側の袋が破けず、分別作業の妨げとなります。資源化できない場合、焼却処理等しなければならなくなります。



手選別の様子



令和6年度 渋川地区広域市町村圏振興整備組合 職員採用試験のお知らせ

令和6年度職員採用試験（令和7年4月1日付採用）を下表のとおり行います。
なお、詳しい内容は、組合ホームページで確認してください。

ホームページ
<https://www.sknet.or.jp/>



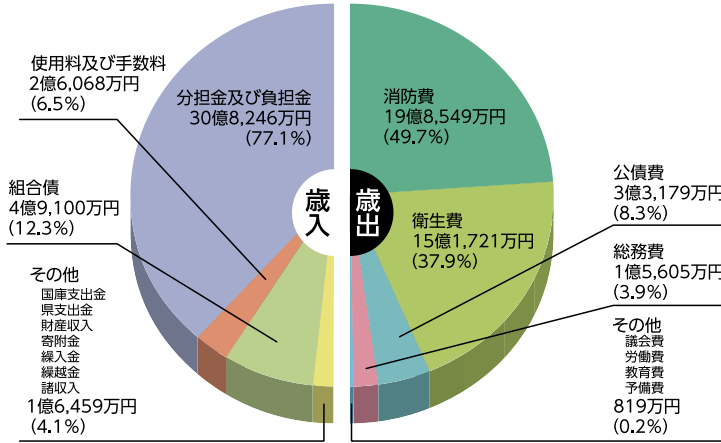
- 申込書配布場所 広域組合事務局総務課、消防本部総務課、渋川広域圏内各市町村役場
- 申込方法 申込書、写真（6か月以内に撮影・縦4cm×横3cm）、救急救命士は免許証の写しを
広域組合事務局総務課または消防本部総務課へ直接提出
- 申込期間 8月1日（木曜日）から8月15日（木曜日）まで
（土曜日・日曜日、祝日を除く午前9時から午後5時まで）
- 問い合わせ先 事務局総務課 ☎0279-60-5200 消防本部総務課 ☎0279-25-4191

職種	採用予定人数 令和7年 4月1日採用	受験資格 日本国籍を有し、下記の職種要件を満たす人 ※地方公務員法16条の規定に該当する人は、受験できません。	第1次試験		第2次試験 （第1次試験 合格者対象）
			日時・会場	試験内容	
（救急救命士 を含む） 消防職	大学卒業業者	若干人	9月22日（日曜日） 午前9時 渋川市勤労 福祉センター	・一般教養試験 ・適性検査	10月中旬以降 ※作文・面接・ 体力機能検査
	短大卒業業者				
	高等学校卒業業者				

※高等学校卒業業者には、高等学校卒業程度認定試験合格者を含む

予算の概要

一般会計予算額は39億9,873万円で、前年度比較では8,223万円の増額となりました。
増額の主な要因は、県内6消防本部で共同運営する「たかさき消防共同指令センター」の高機能消防指令システム更新整備に係る整備工事負担金によるものです。また、老朽化が進行している施設の補修工事など緊急性の高い事業に重点をおいた予算となっています。



令和6年度
一般会計当初予算
39億9,873万円

組合の借入金について

借入金の残高 17億8,988万円
（令和6年3月31日 現在）

消防施設・車両	10億2,809万円
ごみ処理施設	7億4,529万円
し尿処理施設	1,650万円

令和6年度 渋川地区広域市町村圏振興整備組合の予算

令和6年度当初予算と主要事業のあらましについてお知らせします。

【令和6年度主要事業】

ふるさと市町村圏事業

渋川地区広域市町村圏が一体となった魅力あるふるさとづくりを行うための事業です。グリーンフラワー事業、広域イベント助成事業、広報事業などを実施し、圏域住民へのサービス向上を目指します。

救急医療事業

圏域住民の常時診療体制を確立するため、在宅当番医制、歯科在宅当番医制、病院群輪番制及び夜間急患診療所業務を引き続き実施します。

火葬場・斎場事業

「渋川広域斎場しらくり聖苑」では、施設の適正な維持管理に努めるため、老朽化が進む火葬炉等の補修工事及び施設設備の修繕を計画的に実施します。
また、指定管理者制度を引き続き活用し、さらなる住民サービスの向上を目指します。

ごみ処理事業

本年度も引き続き、すべての祝日（年末年始及び土・日曜日を除く）のごみ受入を実施し、圏域住民へのサービス向上に努めます。また、容器包装リサイクル法及びプラスチック資源循環促進法に基づき、びん類、ペットボトル及びプラスチックごみのリサイクルに努め、ごみ処理事業の充実を図ります。
また、現在稼働中の最終処分場が埋立満了を迎えるため、最終処分場建設に係る事業を進めて行きます。

し尿処理事業

環境に配慮した施設の適正な運営及び維持管理を行います。

消防救急事業

近年の救急業務の出場増加及び高度化に対応するため、計画的な救急救命士の養成を行います。また、消防力の維持・充実・強化を図るため、救急車の更新を行います。
老朽化した消防庁舎を建て替えるため、現在建設工事中の西分署建設工事を引き続き実施します。

教育関係事業

圏域住民の健全なレクリエーションの場として利用される、広域圏運動場各施設の維持管理に努めます。

令和5年度 情報公開・個人情報保護制度の実施状況

令和5年度中の情報公開の請求件数は、9件でした。また、個人情報開示の請求件数は、0件でした。